資料2

八尾市こども計画策定に向けたこどもの意見聴取について

こどもがふだんの生活で感じていることや疑問に感じていること、大人に言いたいことなどについて、意見を集めました。

意見聴取については、いつでも回答できる方法（常設型）、出席者が集まる場所へ出向く方法（スポット型）、支援者や保護者などから当事者の声を聴く方法（アドボケイト型）の３つの柱で実施しました。意見を積極的につたえられる子、促されるとつたえられる子、つたえることに消極的な子、つたえることが困難な子など、さまざまな当事者から意見が聴けるよう、日ごろから当事者にかかわっている支援機関や地域で活動する団体や大学生などの協力も得ながら、ワークショップやＷＥＢページの活用、意見交換など、工夫を凝らして実施しました。

１．常設型　「みんなのこえ 大募集　！」

ＷＥＢページから意見を募集しました。
市政だよりやホームページのほか、就学前施設や市立小中学校等へちらしやポスターを配付し、意見募集とあわせて意見募集の趣旨も周知しました。

「常設型「みんなのこえ 大募集！」」に係る主な意見のまとめ（102件）

「わたしがおとなにおもうこと」
「大人は忙しい」、「仕事が大変そう」、「大人は自由なのに、子どもには自由があまりない」などの意見がありました。
「わたしのこえをきいてもらえたとき」
「お母さんが気持ちを聞いてくれたり、友だちから嫌なことを言われたときに、別の友だちが理解してくれたことが嬉しかった」などの意見がありました。
「わたしのこえをきいてもらえなかったとき」
「習いごとや勉強をやりたくないときに、気持ちや意見をきいてもらえないことが、悲しい、つらい」などの意見がありました。
「ふだんのせいかつで「なんでやねん」とおもうこと」
「公園でのボール遊びが禁止されていること」や、学校生活では、「宿題がしんどい」、「授業が面白くない」、「洋式トイレが少ない」などの意見がありました。

2．スポット型　「つたえてみよう みんなのこえ」

市内商業施設や市内活動団体の協力を得て、イベントブースを設け、こどもが想いをつたえる企画を行いました。あわせて、こどもの権利を啓発するため「子どもの権利なんでやねん！すごろく」の体験会も行いました。
また、市内で開設されるこどもの居場所でも意見聴取に協力いただきました。

主な意見のまとめ（388 件）

・大きくなったら、〇〇になりたい。
・いつもありがとう。
・公園や遊ぶ場所が増えてほしい。
・大人は自分勝手。
・休み時間が短い。
・おいしい給食をいつもありがとう。
・なぜ、勉強しないといけないの？
・もっと外で遊びたい。
・思っていることを言ってもわかってもらえない。
・きれいな学校にしてほしい。
・おこづかいを増やしてほしい。
・自分（兄・姉）には厳しいのに弟（妹）にあまい。

3．アドボケイト型　「こども・若者の意見聴取・反映に関する意見交換会」

日ごろから当事者にかかわっている支援機関から当事者からの意見聴取や反映の方法などについて意見交換を行いました。

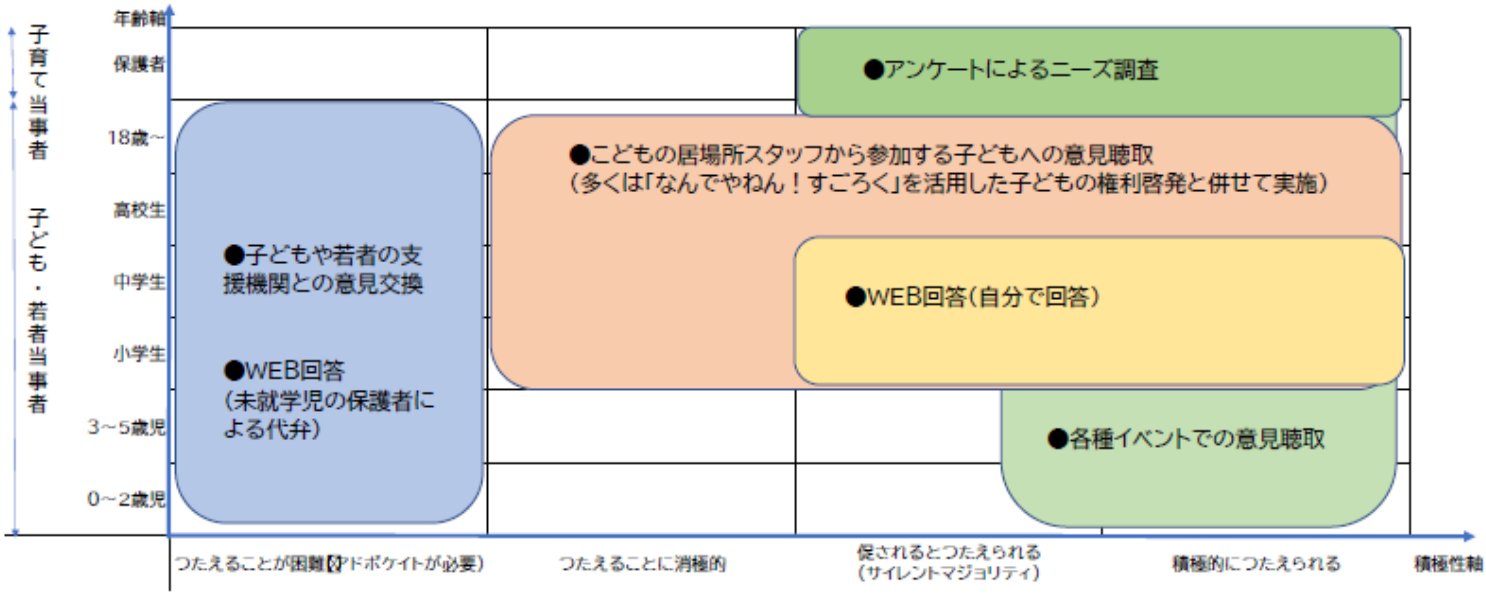
参加支援機関　　5機関

・社会的居場所事業わかごぼう
・社会福祉法人つむぎ福祉会（若者相談窓口）
・八尾隣保館サポートやお
・八尾隣保館ルフレ八尾
・八尾市教育センター

主な意見のまとめ

支援者の子ども・若者の特性
・こどもたちが自分の思いを受け入れてもらいたいと考えており、大人の言い方一つで指導と受け取られることもあり、受け入れられることを期待している。 ・こどもたちはこうしないといけないという正解を知っているが、それを実行できないことが多い。 ・さまざまなところで否定をされてきた人生を歩んできた子ども・若者が多い・消極的な子と積極的な子のタイプがおり、タイプに応じた聞き取り方や支援を考えていくことが必要。
支援者が子ども・若者の声を聞き出す際にこころがけていること
・こどもたちとの信頼関係を構築し、意見を言いやすい環境をつくるためには、まず共感と傾聴の姿勢を持ち、否定はせず、時間をかけながら、相手の話に共感しながら傾聴することが重要。 ・日常的な関わりを通じて信頼関係を構築し、困ったときに意見を言いやすくなる環境を整えることが必要。 ・アドバイスや提案は慎重に行い、まずは話を聞くことに専念し、子どもたちが自分の考えや気持ちを整理できるようにサポートすることが重要。 ・子ども・若者が望むのは、否定せずに聞いてほしいということ、今自分が抱えているものを分かってほしい、自分が抱えているものを聞くだけでもいいからその時に半分抱えてほしい、気持ちを支えてほしいというのがある。
支援者の立場から、子ども・若者の権利を守るために必要だと思うこと
・保護者や教員等大人が子どもの権利について理解し、守ることが重要。 ・子ども・若者が意見を言いやすい環境づくりが子どもの権利を守るために重要。

４．各意見聴取の取り組みの位置づけ

今回実施した、各意見聴取の取り組みと昨年実施したアンケート調査を年齢と意見表明の積極性について、下記のとおりまとめました。

■こども施策にこどもの意見表明を反映する取り組み